

1 調査名称：神戸市 L R Tなど新たな交通手段の導入も見据えた公共交通のあり方検討業務

2 調査主体：神戸市

3 調査圏域：神戸市

4 調査期間：平成 27 年度

5 調査概要：

神戸市では平成 25 年 9 月に神戸市総合交通計画を策定し、公共交通を中心に歩行者、自転車、自動車などがバランスよく組み合わせられた、安全で快適な交通環境の形成を目指している。

今後、神戸市総合交通計画を推進していくため、具体的な取り組みや、その実施スケジュールなどをまとめた実施プログラムの策定を進めることとしている。

市では、平成 26 年度より、人や環境に優しく都市の魅力向上にも寄与する交通機関であるとともに、都市の交通ネットワークの一部を担う交通機関として、次世代型路面電車を用いた L R T等の新たな交通手段の導入可能性について検討を始めている。

また、公共交通を補完する交通手段としてワンウェイ型のカーシェアリングの実証実験を実施した。

本業務は L R T等の新たな交通手段の検討の深度化を図り、その他カーシェアリング等の交通手段との役割分担や、既存の公共交通ネットワークの活用も含めて、公共交通のあり方を検討する。

## I 調査概要

### 1 調査名

平成 27 年度新たな交通手段（LRT、BRT）の導入可能性検討業務

### 2 報告書目次

- I 業務の概要
- II 新たな交通手段（LRT、BRT）の導入に係る市検討案の検討
- III 関係者との意見交換・協議等に要する資料の作成及び会議補助
- IV 新たな交通手段（LRT、BRT）の導入に関する市検討案のとりまとめ
- V 今後の課題
- VI 交通量調査結果

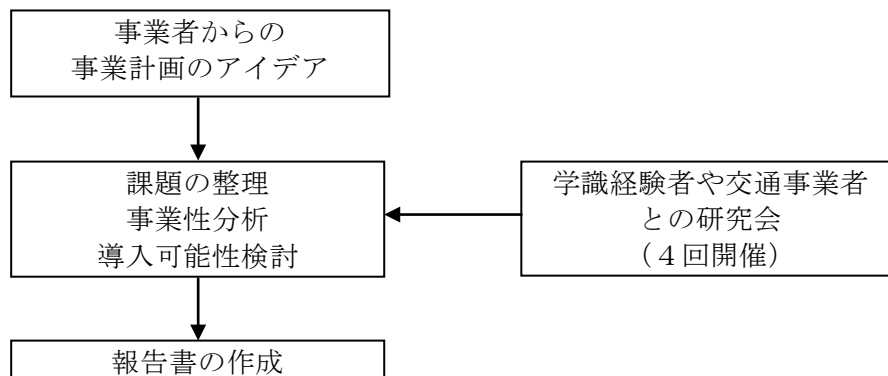
## II 調査成果

### 1 調査目的

神戸市では、平成 25 年 9 月に神戸市総合交通計画を策定し、基本方針の一つとして「公共交通中心の交通ネットワークの維持・充実」を掲げている。それに基づき、交通結節機能の向上や公共交通ネットワークの利便性向上などを図るため、既存の公共交通の活用に加えて、LRT などの新たな交通手段の導入についても検討している。

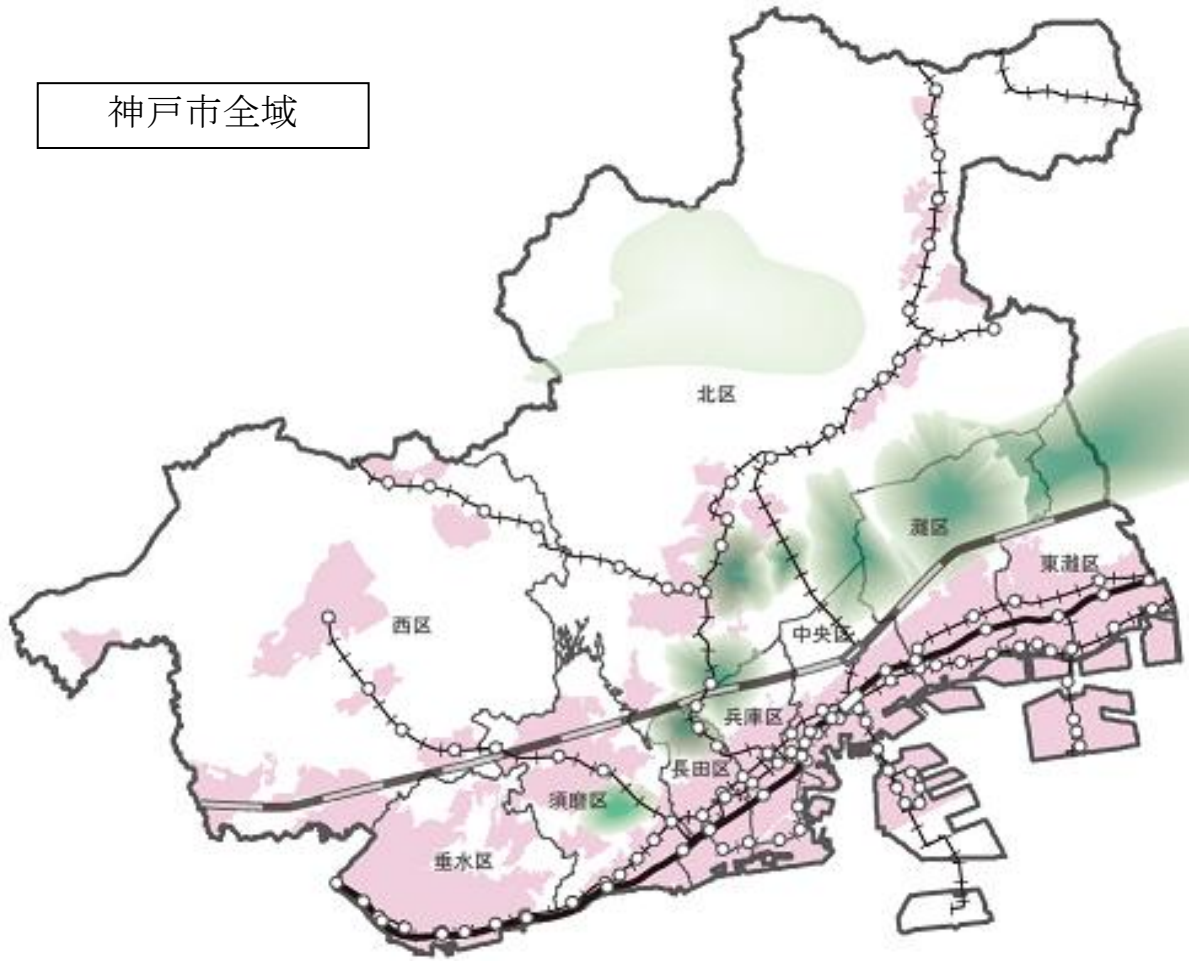
本業務の目的は、平成 26 年度に運営ノウハウを有する検討事業者から提出された新たな交通手段 (LRT、BRT) の導入に関する事業計画のアイデアを基に、導入コンセプト、運行ルート案、事業採算性、行政と事業者等の役割分担などを検討し、学識経験者や交通事業者などの専門的見地から意見をいただく会議の補助を行い、得られた様々な意見等を踏まえながら新たな交通手段 (LRT、BRT) の導入可能性の検討を行うことである。

### 2 調査フロー



3 調査圏域図

神戸市全域



#### 4 調査成果

本調査成果は、本市内部における検討に関する情報であって、公にすることにより市民の間に著しい混乱を生じさせ、又は特定の者に不当に利益を与え若しくは不利益を及ぼすと認められるため、非公開とする。

## I 調査概要

### 1 調査名

平成 27 年度ワンウェイ型カーシェアリングに関する調査分析業務

### 2 報告書目次

#### I. カープローブデータ等の整理、分析

- 1 概要
- 2 カーシェアリングのシステム概要
- 3 カーポート設置場所
- 4 運用方法
- 5 シーモの利用登録者
- 6 利用実績
- 7 カーシェアリングの移動範囲
- 8 予約操作履歴
- 9 メンテナンス作業

#### II. アンケート結果の整理、分析

- 10 利用者アンケート
- 11 有料期間中の利用実績

#### III. 今後のワンウェイ型カーシェアリング等の展開の検討

- 12 事業環境分析
- 13 ワンウェイカーシェアリングの今後の展望

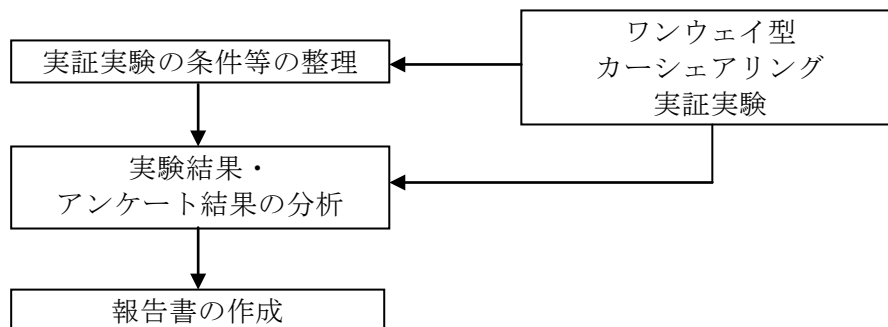
## II 調査成果

### 1 調査目的

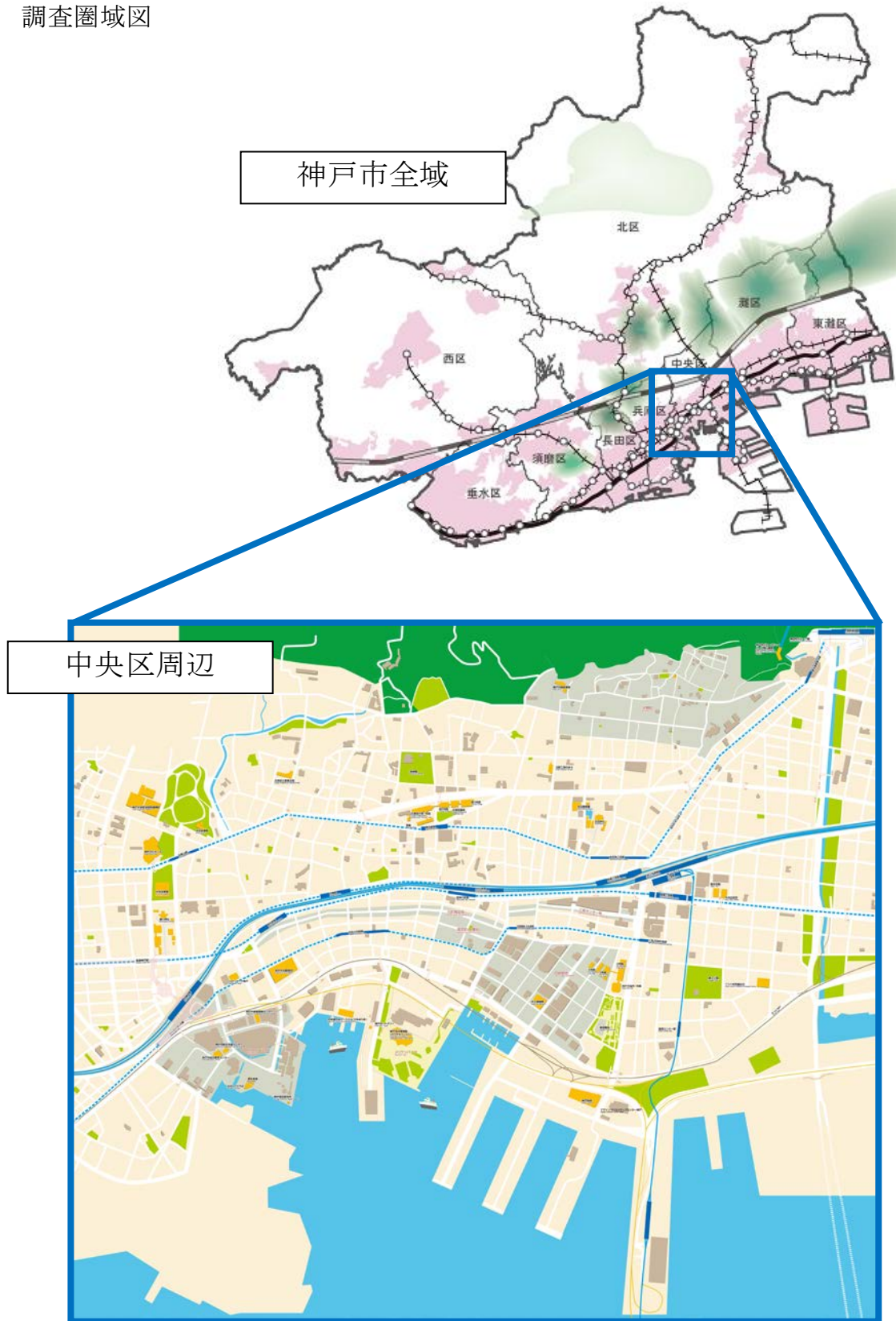
神戸市では、平成25年9月に策定した神戸市総合交通計画に基づき、基本方針の一つとして「公共交通中心の交通ネットワークの維持・充実」を掲げており、交通結節機能の向上や公共交通ネットワークの利便性向上などを図るとしている。この方針に従い、公共交通を補完する乗り捨て利用が可能なワンウェイ型カーシェアリングの導入についても検討を行い、実証実験を実施した。

本業務の目的は、これらの車両から得られるデータとアンケートより得られるデータから、神戸市内における交通の実態や需要、カーシェアリングの有効性等を分析、検証し、今後のワンウェイ型カーシェアリング等の交通手段の展開を検討することである。

### 2 調査フロー



3 調査圏域図





#### 4 調査成果

##### 1. 実証実験の概要

###### (1) 目的

<ワンウェイ型カーシェアリングの有効性の検証>

- ・公共交通を補完する交通手段としての有効性
- ・都心の回遊性向上に対する有効性

###### (2) 事業内容

- ・事業運営
- ・システム開発
- ・車載器開発
- ・データ分析、運用効率化支援

###### (3) 期間

- ・平成27年8月22日(土)～平成28年3月14日(月)
- ・営業時間 8時～22時(14時間)

###### (4) 利用車両及び利用料金

- ・利用EV車両(20台)
- ・利用料金：2月末まで無料、3月は下記料金

車両	i-MiEV	New Mobility CONCEPT (NMC)	COMS
メーカー	三菱自動車	日産自動車	トヨタ車体
定員	4人	2人	1人
台数	5台	10台	5台
料金(15分単位)	350円	300円	250円
イメージ			

(5) ポート

- ・最大 16 ポート・36 車室  
(累計 17 ポート・39 車室)
- ・ポート位置



(7) 結果

- ・会員数 756 名
- ・利用実績 延べ 2501 回 (うち、3/4 がワンウェイ利用)
- ・平均利用回数 平日 1.4 回/ (台・日)、休日 2.3 回/ (台・日)

## I 調査概要

### 1 調査名

平成 27 年度既存公共交通ネットワークの有効活用に係る調査分析検討業務

### 2 報告書目次

1. 業務の概要
2. 既存公共交通ネットワークの有効活用の事例調査
  - (1) 対象事例の選定
  - (2) 類似事例における効果分析
3. 有効活用の取組の影響分析
  - (1) 有効活用の取組による変化
  - (2) 有効活用の取組に伴う効果分析
  - (3) メリット、デメリットのとりまとめ

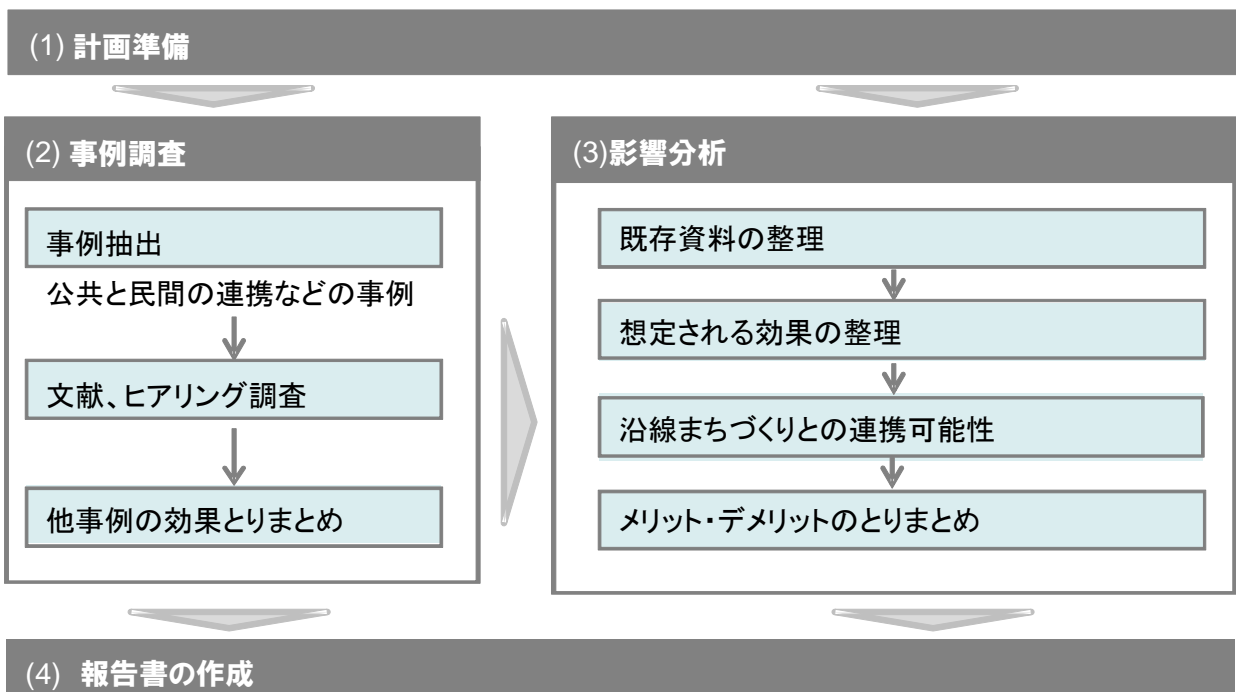
## II 調査成果

### 1 調査目的

人口減少社会が到来する中、既存の公共交通ネットワークをいかに活用するかということは、まちづくりの観点からも重要な課題である。このことから、神戸市では、市営地下鉄と民間鉄道との連携など、既存公共交通ネットワークの有効活用について検討している。ただし、このような取組を進めるためには、メリットや費用対効果等、様々な評価を行う必要がある。

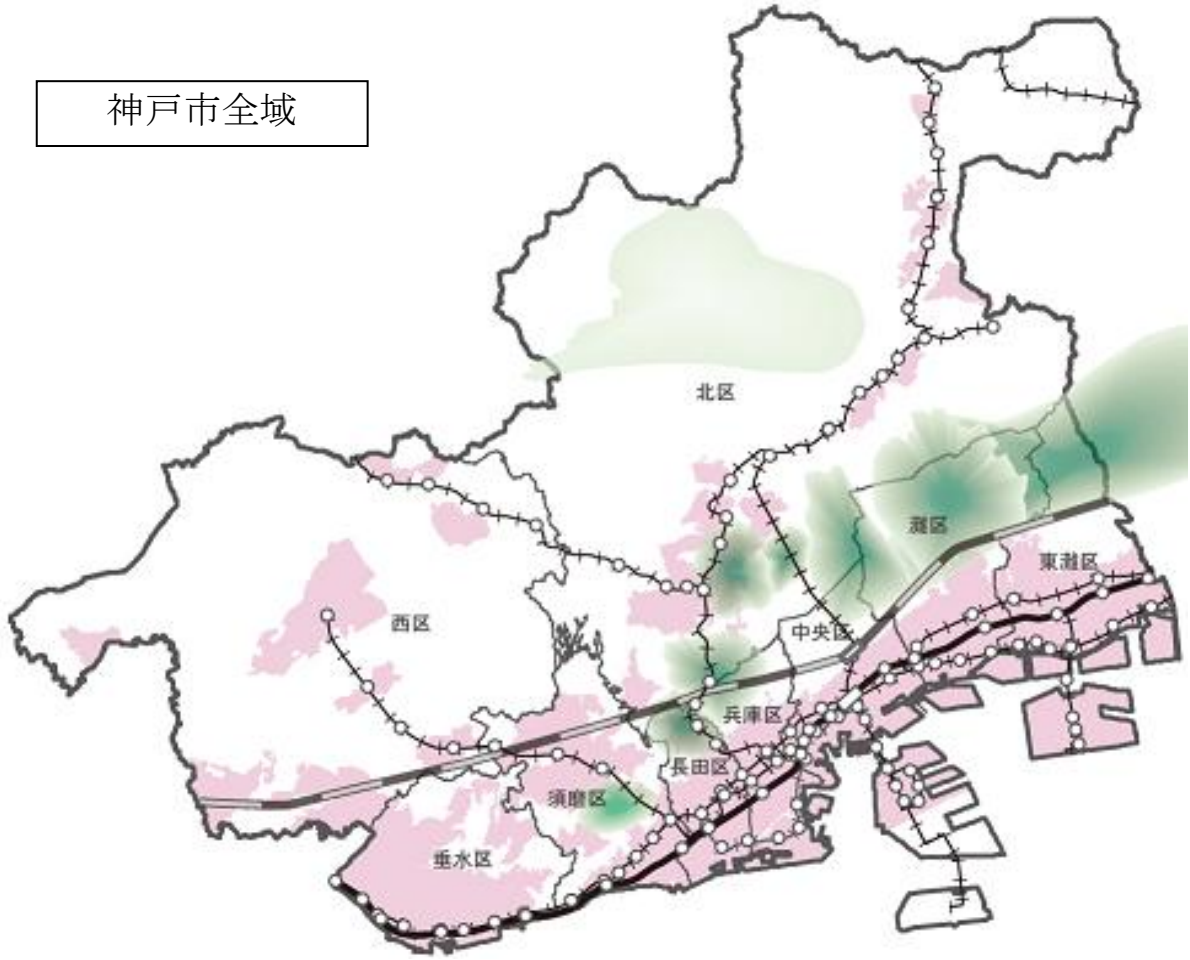
本業務は、既存公共交通ネットワークを有効活用する取組による影響、効果を把握するなど、メリット、デメリットを検討することである。

### 2 調査フロー



### 3 調査圏域図

神戸市全域



#### 4 調査成果

本調査成果は、本市内部における検討に関する情報であって、公にすることにより市民の間に著しい混乱を生じさせ、又は特定の者に不当に利益を与え若しくは不利益を及ぼすと認められるため、非公開とする。